

「共に生きる街づくり」災害列島に生きる アンケート結果

CAN（消費者行動ネットワーク）

CANは、11月5日(土) 栄 オアシス21で開催された名古屋消費生活フェアにおいて、「減災」についてのブースを出展しました。

その際、減災についてのアンケートを実施し111名の方から回答いただきました。以下、集計結果です。

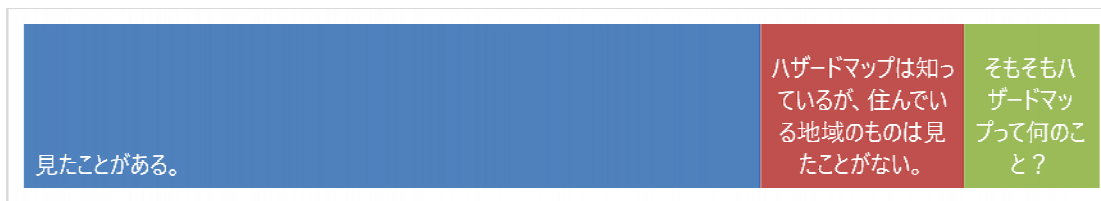
実施日 2016年11月5日(土) 11時～16時
場所 栄 オアシス21
イベント名 名古屋消費生活フェア
回答者数 111名

〈「共に生きる街づくり」災害列島に生きる〉と題してアンケートに回答いただきました。

1. お住まい周辺の「ハザードマップ」を見たことがありますか？

111

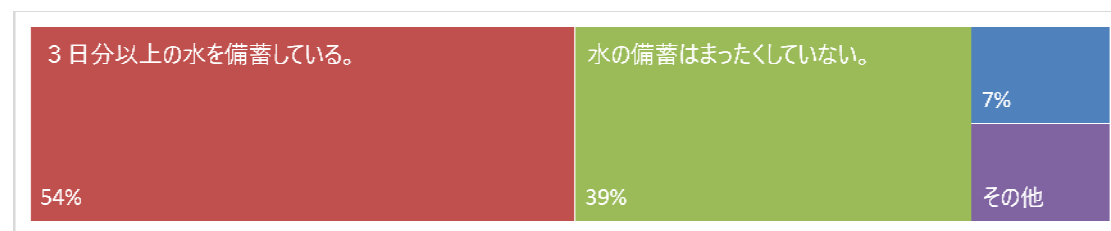
- | | | |
|---------------------------------------|-----|----|
| a. 見たことがある。 | 68% | 76 |
| b. ハザードマップは知っているが、住んでいる地域のものは見たことがない。 | 19% | 21 |
| c. そもそもハザードマップって何のこと？ | 13% | 14 |



2. いざという災害に備えて「水の備蓄」をしていますか？

102

- | | | |
|---------------------|-----|----|
| a. 1週間分以上の水を備蓄している。 | 7% | 7 |
| b. 3日分以上の水を備蓄している。 | 54% | 55 |
| c. 水の備蓄はまったくしていない。 | 39% | 40 |
| d. その他 | | 7 |



3. まずは「自分の命は自分で守る」(自助)が重要です。水害や地震への備えについてご家族で話し合ったことがありますか？

107

- | | | |
|----------------|-----|----|
| a. 話し合ったことがある。 | 58% | 62 |
| b. 話し合ったことがない。 | 37% | 40 |
| c. その他 | 5% | 5 |



話し合ったことがある。

話し合ったことがない。

他

4. いざという時、たよりになるのが共助(ご近所、地域のみなさんとの助け合い)です。

108

- | | | |
|------------------------------------|-----|----|
| a. 「お互いさま」と日頃から挨拶をかわし親しくなるよう努めている。 | 63% | 68 |
| b. 知っているがあまり親しくない。 | 26% | 28 |
| c. ご近所や地域の方のことはあまり知らない、疎遠だ。 | 11% | 12 |

「お互いさま」と日頃から挨拶をかわし親しくなるよう努めている。

知っているがあまり親しくない。

ご近所や地域の方のことはあまり知...

5. 災害についての行政からの「情報提供」が的確に行われていると思いますか？

104

- | | | |
|---------------------|-----|----|
| a. 分かりやすく的確に行われている。 | 40% | 42 |
| b. 分かりにくく不十分だ。 | 60% | 62 |

*** 防災・減災について、公助(行政)に、期待することを自由にお書きください。**

何でも分かりやすくしてほしい。
 もう少し分かりやすく説明してほしい。
 適切な情報をローカルに知らせてほしい。
 情報をこまかく連絡する。
 もっと分かりやすく情報を流してほしい。
 危険がせまったとき確実に情報が届くようにしてほしい。
 事前に早めに対応出来る対策と情報の提供を早めに知る事が出来ればと思います。

地震と水害の避難所の区別を明確にしてほしい。
 避難所の区分をきちっと周知すべき。小学校、中学校(要援護者)避難した時の助け。
 しょうがい者用の場所を確保してほしい。

学校で学ばせてほしい。
 子どもが分かるように。

災害時の下水(トイレ)、水道の使用法(小学校に備品としてある物)の利用方法を中高生に定期的に！
 トイレの設置等、わかれば良いな・・・。

協力できる態勢を作りたい。
 集合住宅での防災訓練など義務にでもなっていればと思う。

地域住民に「自助」をPRすること!! (自分のことは自分です。)

「行政からの情報提供」分かりやすいけどなかなか準備する行動が伴わないです。

自主防災に参加しています。
 いざといく時に集まる施設の場所をしっかり把握したい。
 防災、減災は、心構えが大切。

水は大切だと思います。

対応が遅い。
期待はしていません。